

京都

「産・学・公」連携で新市場を創造

有力企業の連携事例・新技術

NKE

NKE(京都府長岡京市、中村道一社長、075-9555-0071)

は、技術力強化および新製品開発、市場開拓のため地域の大学や企業との連携を重視している。これまでも大学が持つ先端技術の知識や理論を取り入れ、主力の搬送機器分野をはじめ新市場として介護分野での機器・製品開発を進めてきた。

このほど同社の直配線機器「ユニライン」が、

先端技術や知識を吸収

宇宙から飛来する高エネルギー素粒子ニュートリノを観測する国際共同研究プロジェクト「アイスキューブ」に採用された。欧米や日本など8カ国の大学や研究機関が連携し、南極大陸の膨大な氷を検出装置とし、光の伝播を調査する。ユニラインは人工光源と光検出器からなる較正器の長距離データ電送に用いられる。氷河の地下1500mの過酷な条件下でも的確なデータ取得可能な製品特性が認められた。